文殊のふもと人いきれ

鯖江 かたかみ春たんぽ

山伏先導で1000人登山

苗ほうり投げ田植えも

文殊山のふもと、鯖江市片上地区のユニークな春祭り「鯖江かたかみ春たんぽ'90」（福井新聞社後援）が二十九日開かれた。山伏の先導による登山や〝空中田植え〟、巨大護摩木をたいて世界体操の誘致実現を祈願するなど多彩な催しを繰り広げ、大勢の人出でにぎわった。

今回初登場の「空中田植え」。早苗を勢いよく投げ放つ親子連れ

霊峰で知られる文殊山の頂上を目指し、約一時間の道のりを山の緑を楽しみつつ元気に歩いた。

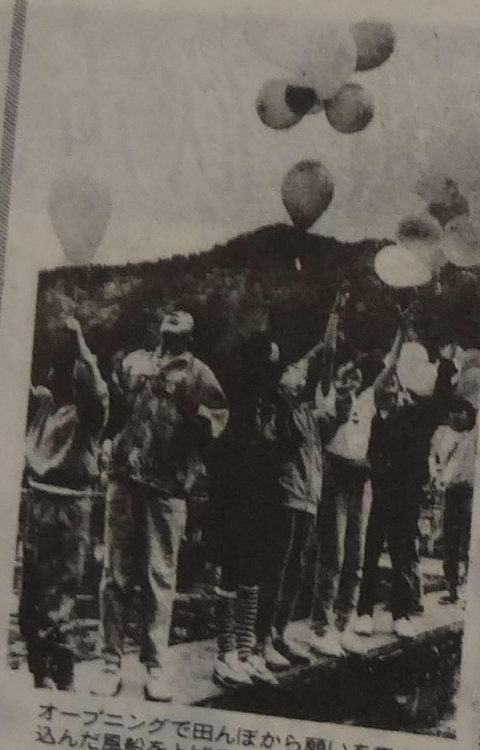
会場周辺には「うまいもん広場」が設けられ、名物のタニシのつくだ煮やカモ汁、ねはん団子などの店がずらり。太鼓の競演も行われ、下山した人たちや一般客で大盛況。

片上公民館近くの田んぼを中心にしたイベント会場では午前十時に開会式を行い、文殊山の中腹にある「山ンバの大岩穴」をかたどったモニュメントでテープカットをし、子供たちが願い事を書いた風船千個を大空に放った。

三国町の滝谷寺の山伏十人がホラ貝を吹き鳴らしながら登山口へ向けて出発。一般の参加者らも後に続き、田んぼの中には長い人の列ができた。家族連れなど千人以上が初登場の「空中田植え」では、根に土の付いたコシヒカリの苗をほうり投げて植えるという〝珍体験〟に大人も子ピっ子も大喜びで、次々と挑戦。アッという間に水田が早苗で埋まった。

最後には参加者の健康や無事を祈って護摩供養祭を営んだ。文殊山の山頂まで持ち登った世界体操の鯖江招致を祈願する長さ二㍍のジャンボ護摩木もたかれた。

地域おこしのため新旧のイベントを交ぜ合わせたかたみ春たんぽは今年で三回目。ふだんは静かな文殊の里に一日中多くの人が訪れ、地区の住民らも祭り気分に包まれていた。



オープニングで田んぼから願いを書き込んだ風船を上げる子供たち

ホラ貝の音が響き わたる中、山伏を先頭に参加者は登山口へと向かった

許さぬぞ少年非行

協助員ら23人に季嘱状　鯖江

4日武生シビィで慈善オークション

大手スーパー・ユニーは誕生二十周年特別企画として、四日午後零時半から武生市のショッピングセンター・シビィ広場でチャリティーオークションを開く。

商品は電化品、寝具、衣料品、食料品など約百点。桂春秋の司会でオークションを行う。収益金は福井新聞社の「しあわせ基金」を通して福祉に役立てる。

嶺北

ニュースのご連絡

鯖江支社 〒916 武生市上太田町 ☎0778(23)1221
鯖江市西山町 ☎0778(53)0234
大野支社 〒912 大野市美川町 ☎0779(66)2567
勝山支局 〒911 勝山市立川一丁目 ☎0779(88)2011
三国支社 〒913 三国町覚善 ☎0776(82)1123
丸岡支局 〒910・02 丸岡町一本田 ☎0776(67)0321